



防火への誓い新たに 平成26年消防出初式

1月11日、浜の宮グラウンドで年始の風物詩となっている平成26年築上町消防出初式が行われました。

当日は寒空の下、町消防団、来賓ら約350人が参加。表彰・観閲・分列行進等が行われ、「火災のない安心・安全な町づくり」をめざして決意を新たにしました。

消防団は、消防組織法に基づく消防機関で、郷土愛の精神に支えられた一般住民による組織です。そのルーツは、江戸時代に活躍した「江戸の町火消し」までさかのぼります。地域に密着した消防機関としての地域防災力の強化は、安全・安心のまちづくりの実現に欠かせません。火災や災害発生のお知らせを受ければ、昼夜問わず現場に急行し、災害現場の最前線で待ったなしの活動を繰り返します。普段、消防団員は、それぞれの仕事に就いています。災害発生時には消防団員として、住民の生命・財産を守るために消火活動や災害防衛活動にあたります。災害時の冷静な行動と的確な判断は、日頃の厳しい訓練の賜物です。

昨年の火災による被害や東日本大震災等が発生により、地域の安心・安全の確保に対する関心が高まっています。このような状況下で、消防団の地域密着性、要員動員力、即時対応力などの特性が注目されています。地域防災の重要な存在となるのが消防団なのです。